

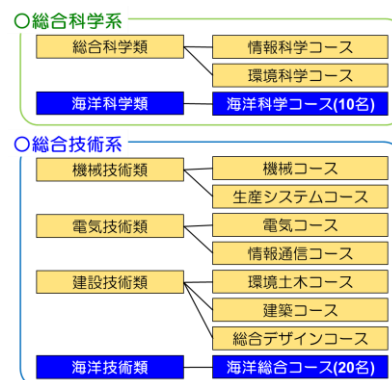
【招待講演 - 2】

「徳島の水産業を元気に！！ ～ワカメ養殖を中心とした高校生の取組～」

徳島県立徳島科学技術高等学校 海洋科学類 海洋科学コース

教諭 記本 貴寛

徳島県立徳島科学技術高等学校は、平成21年4月1日「世界をめざす技術者へ！」をキャッチコピーに、徳島工業、徳島東工業及び水産高校を発展的に統合して開校し、昨年度は創立10周年の記念すべき年を迎えた。専門高校を取り巻く進路環境の多様化のなか、大学や専門学校等への進学希望者と各種企業への就職希望者の両者を支援するハイブリッド型教育システムを導入している。そのため、全日制課程には工業科及び水産科の6類11コースが設置されている。また、定時制課程には工業科2類3コースが設置され、単位制の特徴を生かし、ライフスタイルに応じた学びを支援している。



平成25年度からは「とくしまマリンサイエンスプロジェクト」をメインテーマとして、スーパーサイエンスハイスクール（以下SSH）の指定を受け、資源増殖や海洋環境についての指導の工夫や教材開発に取り組むとともに、地域や産学官の連携を通して、生徒の学習意欲を向上させ、学力を伸ばさせるカリキュラムの開発を行ってきた。5年間の指定期間を終え、平成29年度末に二期目のSSHを申請したが採択されず、経過措置校として1年間の取り組みを経て再申請し、今年度からSSH二期目の指定を受けることができた。SSH二期目では「SCITEC-HI Project」をメインテーマとして、徳島からグローバルに活躍することができる理工学コンピテンスを備えた人材の育成を目指して取り組むこととなった。

今回の講演では、本校の海洋科学類及び海洋技術類の生徒が取り組んでいる、ワカメ養殖を始めとした海洋実習や地域の水産業を元気にするための様々な取組について紹介したい。